



結核という病気を ご存知ですか？



『最近の結核の状況』

- *高齢者の発病が多い
新規登録患者の半数以上は70歳以上。
和歌山県では70%以上が70歳以上。
- *働き盛りの人の発見が遅れる

『高齢者の結核発病の特徴』

- *結核を発病しても、せき・たん・発熱等の典型的な症状が出ないことが多い。
- *発見が遅れがち

重症化することも多い

結核の症状

初期の症状は風邪とよく似ています。

- ・せきやたんが2週間以上続く
- ・急に体重が減る
- ・からだがだるい
- ・微熱



感染経路

結核は空気感染です。結核菌の混ざったしぶきが、せきやくしゃみと一緒に空気中に飛び散り、それを周りの人人が直接吸い込むことによって感染します。ただし、吸い込まれた結核菌の大半は、鼻・のど・気管支などに付着し、そこにある纖毛の働きによって体外に排出されます。結核に感染しても必ず発病するわけではありません。結核は過去の病気ではなく今なお、

和歌山県でも、平成25年の一年間に202人の新しい患者が発生しています。

結核は過去の病気ではなく今なお、日本最大の感染症なのです。

結核検診についてのお問い合わせは

☎ 64-1120
健康福祉課保健係まで

結核の予防

結核の予防には、普段から健康的な生活をこころがけ免疫力を高めておくことが重要です。赤ちゃんは生後5～8ヶ月以内にBCG接種をしましょう。

結核の治療

合併症や副作用がなければ、3～4種類の薬を6～9か月程度、正確に服薬することで治ります。

結核検診をうけましょう

町で行っている胸部レントゲン検査は、40歳以上65歳未満の方は肺がん検診、65歳以上の方は結核検診と肺がん検診となります。特に高齢の方は結核検診・肺がん検診としてぜひ受診してください。



ご存知の方は、結核はもう過去の病気と思っていませんか？

実は…、
結核とは、結核菌によっておこる感染症です。

そして現在でも、

国内で1日に56人の新しい患者が発生し、6人が命を落としている病気なのです。

和歌山県でも、平成25年の一年間に202人の新しい患者が発生しています。

結核は過去の病気ではなく今なお、日本最大の感染症なのです。